

東初石 水害対策

「先延ばし」の責任は重大 —早期着手へ、協力協同を—

雨水幹線『調査費』が予算化

H26年度下水道特別会計に
『大堀川1号雨水幹線整備事業・
基本計画策定業務委託』が明記
され、667万円が予算化され
ました。地域住民が市政を動か
した貴重な成果です。

昨年の台風では、東初石地域
だけで道路浸水2400㍓、床
上・床下浸水の家屋も多数発生
し、自治会からの相次ぐ要請や
議会でも日本共産党・公明党が
取り上げてきました。

政治判断の甘さ 真摯に反省を 住み続けられるまちづくりへ力を合わせましょう

そもそも、東初石地域の浸水
被害はいまに始まったことでは
ありません。

小田桐たかし市議は、水害の
たびに地域に出て、止まってし
まった車両を道路脇に寄せたり、
土のう設置をお手伝いしたり、
道路冠水場所を車両が迂回でき
るよう警備するなど取り組むと
ともに、たびたび議会で改善を

では、美田地先の大堀川防災調
整池等の整備後、「浸水被害は
大幅に解消する」とし、『上期
計画（H22～24年度）』への位
置づけを市長が先延ばしを決定。
H25年4月から始まる『中期計
画（27年度まで）』への位置づ
けも再度先延ばし、H28年度以
降としたのです。

求めてきました。事業完了に長
期間かかることや、H14年7月
に事業認可を取得し、何時でも
整備着手できる区域（680㍓）
があるからH21年12月議会で一
般質問し、計画に位置づけるよ
う提案。「大堀川1号雨水幹線
の整備は計画を進めていかなけ
ればいけない」との土木部長答
弁を引き出しました。

減災・防災は人の力でできます。
また浸水解消は、長期間にわた
ることから、取り組みを年々積
み上げていくことが重要です。
政治判断の甘さが招いた結果を
真摯に反省するとともに、浸水
被害の解決に向け、地域住民・
行政・議会が真に力を合わせて
まいりましょ
う。みなさん
のご協力をお
願いします。

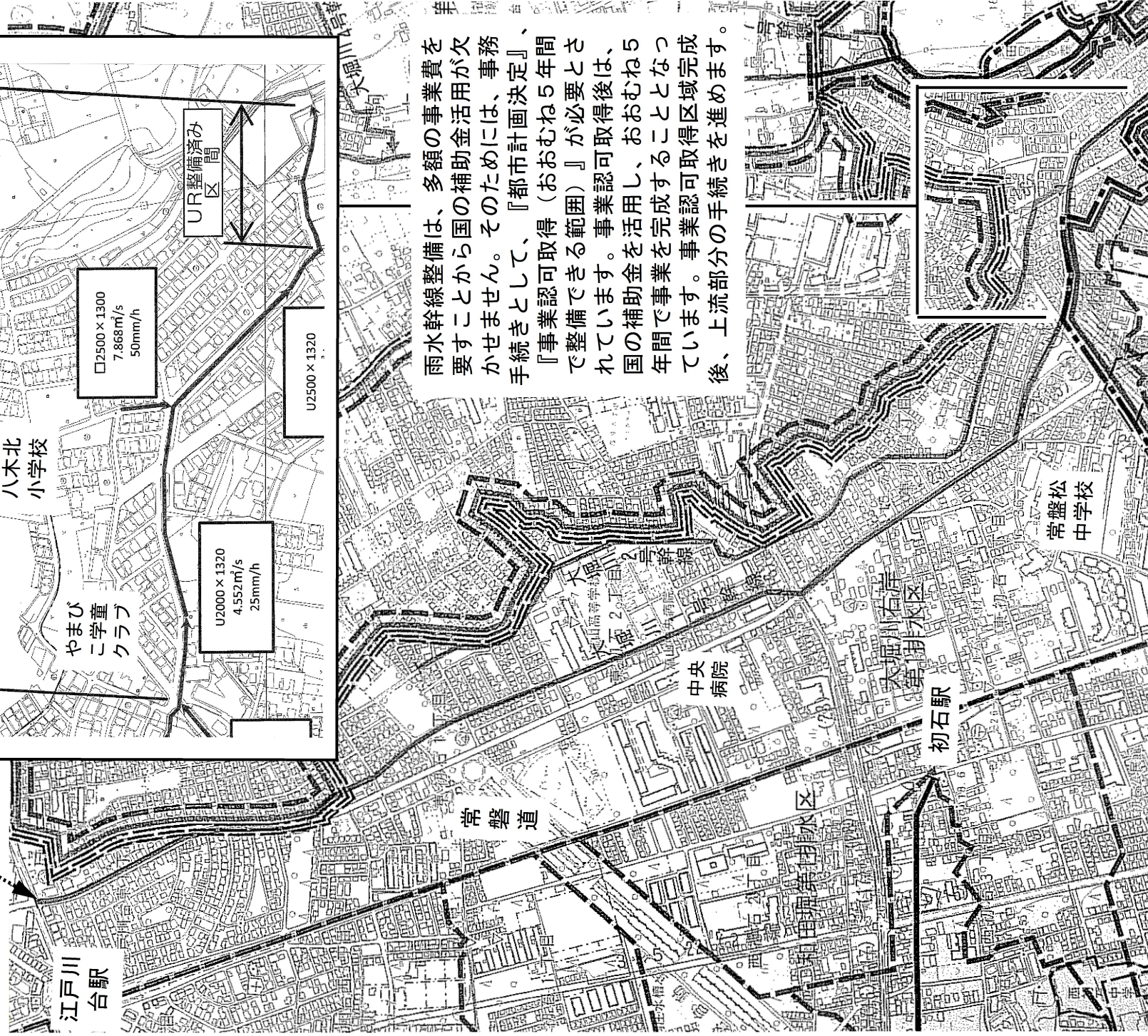
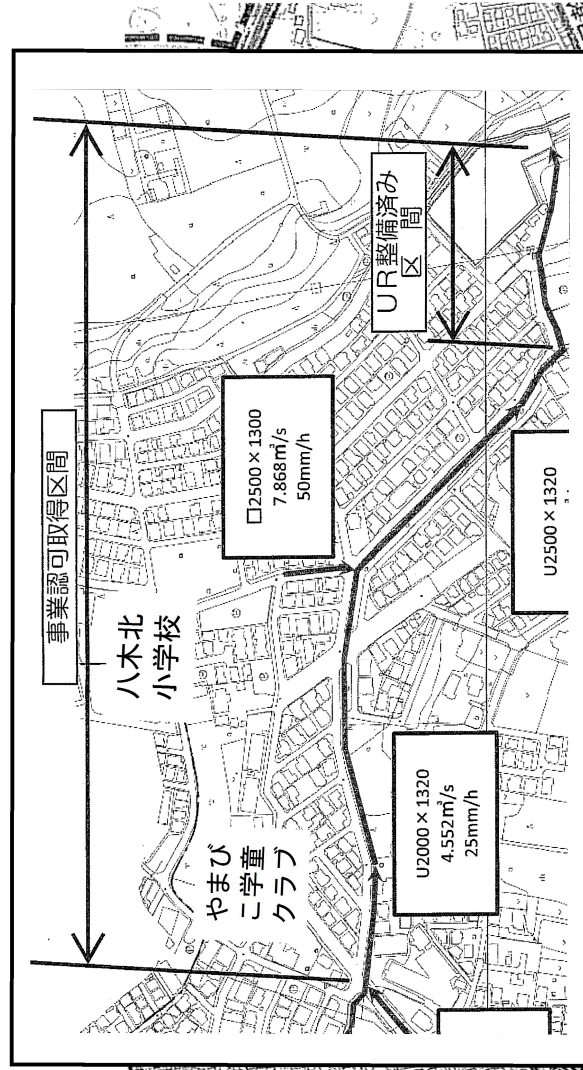


日本共産党市議会議員

小田桐たかし



大堀川1号雨水幹線 (3600㎡)



雨水幹線整備は、多額の事業費を要すことから国の補助金活用が欠かせません。そのためには、事務手続きとして、『都市計画決定』、『事業認可取得（おおむね5年間で整備できる範囲）』が必要とされています。事業認可取得後は、国の補助金を活用し、おおむね5年間で事業を完成することとなっています。事業認可取得区域完成後、上流部分の手続きを進めます。